記者発表資料

平成２６年１２月２６日
青森河川国道事務所

【開通１ヶ月後】
一般国道１０１号　五所川原西バイパスが全線開通して
～市街地の交通が転換し渋滞が緩和～

■　一般国道１０１号五所川原西バイパス（延長 3.8km）が平成 26 年 11 月 3 日に全線開通しました。
　開通１ヶ月後の交通状況をとりまとめたのでお知らせします。

■周辺道路の交通量が減少し、五所川原西バイパスへ転換

並行する国道・県道の交通量が減少し、五所川原西バイパスへ転換により利用が４，９００台／日、延伸により浪岡五所川原道路の利用が１．５倍に増加

■市街地の交通混雑が緩和し、時間短縮や利便性を実感

●市街地の旅行速度（平日）
開通後、旅行速度２０km/h 未満が４割減少（開通前２４%から開通後１４%へ）

●渋滞長の比較（ピーク時（午前７時～午前９時、午後５時～午後７時））

	開通前（平日）	開通後（平日）	摘要
姥菟交差点 （五所川原北IC方向）	140.0m	0.0m	通過時間　3分29秒→1分20秒
田町東交差点 （五所川原IC方向）	55.0m	20.0m	通過時間　2分31秒→1分57秒

※開通前：H26．９月 11 日の最大渋滞長　　開通後：H26．11 月 6 日の最大渋滞長

・「鰺ヶ沢から青森市に行く際に利用しましたが、時間にして１０分くらいは短縮している、と感じています。」
（JA　つがるにしきた　つがる白神）

・「市内を通過する必要がなくなり、信号のない一本道で楽に移動できるようになったので青森市方面への移動が便利になったと感じています。」（五所川原市製造業Ａ社）

・「国道１０１号で、車の流れがよくなったと感じています。」（五所川原市製造業Ｂ社）

・「市内は開通前と比較して混雑が大きく緩和、特につがる市方面からエルム方面へ向かう交通が少なくなっている。」（五所川原市役所）

＜記者発表先：青森県政記者会、建設関係専門紙、津軽新報社＞

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局　青森河川国道事務所
副所長（道路）　大森（おおもり）　祐一（ゆういち）　（内線 205）
（代表）017-734-4521
調査第二課長　船水（ふなみず）　義一（よしひと）　（内線 451）
（直通）017-734-4570

【開通1ヶ月後】 国道101号

五所川原西バイパスが開通して

（平成26年11月3日開通）

①周辺道路の交通量が減少し、五所川原西バイパスへ転換
②市街地の交通混雑が緩和し、時間短縮や利便性を実感



【五所川原市街地渋滞状況（姥萢交差点（C1付近））】

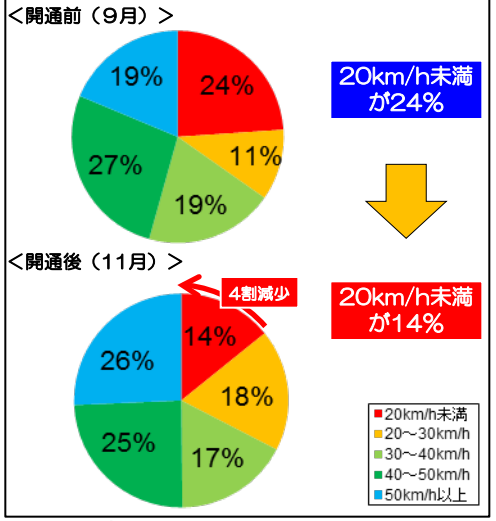


H26年9月17日撮影

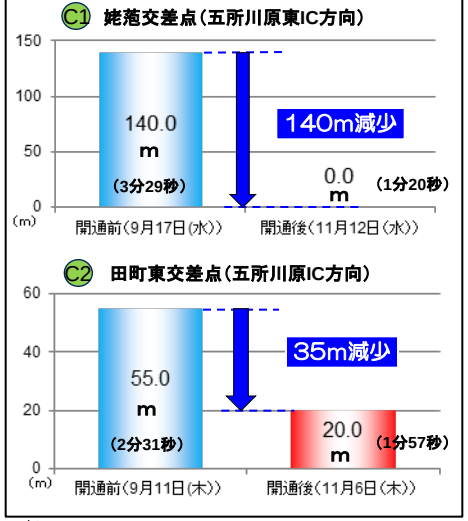


②市街地の県道以上の旅行速度の20km/h未満が4割減少し、主要な交差点で渋滞長が減少、市街地の交通混雑が緩和

▼ 市街地の県道以上の道路の朝夕ピーク時
平均旅行速度区間分布比較（平日）

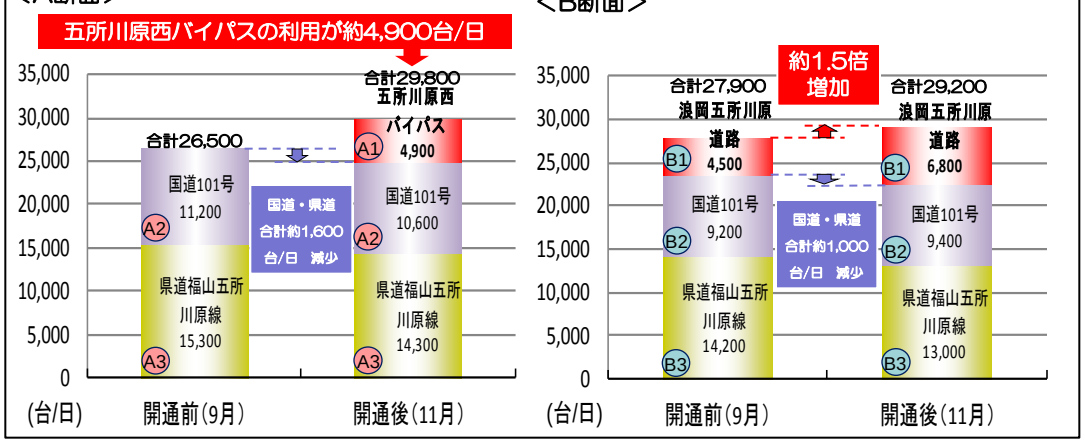


▼ 五所川原市街地の朝夕ピーク時
最大渋滞長の比較（平日） （）は通過時間



①並行する国道・県道の交通量が減少し、五所川原西バイパスへ転換により利用が約4900台／日、延伸により浪岡五所川原道路の利用が約1.5倍

▼五所川原市街地の断面日交通量の比較（平日）



●地域の声（H26. 11月26日～12月18日 ヒアリング結果より） ＪＡ つがるにしきた つがる白神

- 私用や業務で鰺ヶ沢から青森市へ行く際に利用し、時間にして10分くらいは短縮している、と感じています。信号がないのでスムーズに走行ができ、走りやすいと実感しています。



五所川原市製造業A社



- 青森市方面に向かう際、市内を通過する必要がなくなり、信号のない一本道で楽に移動できるようになったので移動が便利になったと感じています。
- 複数の職員が「通勤路」として利用し始めています。

五所川原市製造業B社

- 市内の国道101号で、車の流れがよくなったと感じています。
- バイパス利用により、移動時間が短縮するので、今後、東北自動車道を利用する際や、青森市方面への業務移動の際には利用します。



五所川原市役所



- 市内は開通前と比較して混雑が大きく緩和、特につがる市方面からエルム方面へ向かう交通が少なくなっています。
- 市内北部に位置する「金木町」「中泊町」の方面の方が、11月19日に開通した国道339号バイパスとあわせて五所川原西バイパスを利用することで、つがる市方面に行く際に大変便利になりました。